



心躍る旋律で祝う、
新しい年の幕開け。

COVER ARTIST INTERVIEW

広上 淳一

Junichi HIROKAMI

指揮者

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳でキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝。ノールショピング響、コロバス響、京都市響等で数々のポストを歴任。コンセルトヘボウ管、イスラエル・フィル、ロンドン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへも客演。現在、マレーシア・フィル音楽監督、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストック・リーダー、日本フィルフレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。東京音楽大学指揮科教授。2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

©Masaaki Tomitori

広上淳一 〈指揮者〉



3大バレエの名曲など “お節料理”のような 絶品メニュー

2026年もクラシックの名曲と共に華やかな年明けを。6度目のアール登場となる人気マエストロ・広上淳一とお馴染み新日本フィルハーモニー交響楽団が、年の初めから皆さんに至福の時間をお届けします。

マエストロとニューイヤー・コンサートはアールでは定番の組み合わせですね。前回は2020年、ちょうどコロナ禍直前の1月でした。

もう6年も前になりますか。コロナ禍では老舗の旅館が倒産したり飲食店なども大打撃を受け、我々の業界も存亡の機に瀕しました。美味しいものや楽しい時間を提供する仕事に危機的状況に陥ったあの日々を、決して忘れてはいけないと思います。可児市の皆さんにはいつも温かく迎えていただいておりますが、前回のコンサートでも主劇場の美しい響きと会場の盛り上がり、少し早めに伺ってレストランで食べた素敵なランチの味を今でもよく憶えていますよ。

今回のプログラムでは先ず、チャイコフスキーの3大バレエ組曲が目玉を惹きます。

古典の最高傑作《白鳥の湖》、絢爛豪華な大作《眠りの森の美女》、そしてクリスマスマスが舞台の一大ファンタジー《くるみ割り人形》といった、いずれもバレエ芸術の地位を向上させた有名な作品を彩った名曲から、よく知られたメロディばかりを選りすぐった、まるで“お節料理”のような絶品メニューです。皆さんにとってはとても耳馴染みのよい楽曲ばかりですが、演奏する側としては結構、難易度も高いので“厨房”は大忙し(笑)。とにかく聴き所が満載ですので、ビギナーから熱心なクラシック・ファンまで、どなたにでも満足していただける“ジェフ”お薦めの自信作なのは間違ありません。

もちろん“ワルツ王”ヨハン・シュトラウス2世によるポルカ《雷鳴と電光》を始め、ワルツ《春の声》や《美しき青きドナウ》など、ウィーン・フィル恒例の自家ニューイヤー・コンサートで定番の人気楽曲も盛り沢山ですね。

2025年も庶民の暮らしは相変わらず苦しく、国際情勢をみても暗いニュースばかりが目につく一年でしたが、せめて年明けくらいは日頃の憂さを全て忘れて、会場で皆さんが優雅かつゴージャスな雰囲気心ゆくま

で身を委ねていただけるように頑張ります！ウィーン・フィルのニューイヤーにもバレエが付きものですので、チャイコフスキーとウィーン・フィルの組み合わせも、なかなか良いのではないのでしょうか。

ウィーナ・ワルツは私たちの思う“三拍子”のワルツとも微妙に違うと言われていますが、演奏は難しいですか？

そりゃ難しいです(笑)、でもそのあたりも皆さんはあまり深く気にせず楽しめばいいのです。(ワルツ王”として名声を確立した後でシュトラウス2世が手を染めたオペレッタの分野で、最初に成功を収めた名作《こうもり》の序曲も今回演奏しますが、こちらもしきなり冒頭からノリノリでスタートする軽やかな楽曲なので、存分にエキサイトしていただけたら幸いです。

相性抜群の新日本フィルとの共演ですので、マエストロも心強いのではないのでしょうか。

おっしゃる通りです！もう何度も一緒にやっていますが、それぞれのプレイヤーに個性があって生き生きとした演奏を披露しつ



アール・イルミネーション
ala illumination

2025.12/5(金) ~ 2026.1/12(月祝)

点灯時間：〈12月〉17:30~22:00 〈1月〉18:00~22:00

※休館日(毎週火曜日、12/28~1/4)を除く



新日本フィルのことを知り尽くしていますから、アーラのニューイヤーには欠かせない存在です。

曲と曲とを繋ぐ田添菜穂子さんの司会(MC)とマエストロへのインタビュ・コーナーも名物ですね。

つ、全体でもうまくまとまって一体感を出すのもお手の物という、非常に機動力の優れた素晴らしいオーケストラだと思っています。それに佐渡裕くんが(2023年に第5代の)音楽監督に就いてから、さらに親しみやすさも深まって、本拠地であるすみだトリフォニーホール共々、地元・墨田区の人々により愛されている気がします。それは可見市の皆さんも同じではないでしょうか。アーラも新日本フィルにとってはもうひとつのホームのような場所だと思っています。そんなアーラでの公演に、また私をご指名していただきとても光栄です。

マエストロ自身は今年1月からマレーシア・フィルの音楽監督に就任され、オーケストラ・アンサンブル金沢とシエラを兼任するほか日本フィル、札幌、そして京響にもポストを持つなど多忙な活動を続けつつ、東京音楽大学では指揮科の教授として教育活動にも情熱を注がれています。2025年はどんな年でしたか?そして来年の抱負などもお願いいたします。

この歳になってまた新しいことを始めたりしたいへんな一年でしたがとても充実していましたよ。それに6月には山田和樹くんがベルリン・フィルを指揮して鮮やかにデビューを飾ったり9月には若手指揮者の登竜門として知られるフランスのブザンソン国際若手指揮者コンクールで米田寛士くんが見事優勝を果たしたり、シーンの後輩たちからも嬉しいニュースが届けられて、励みにもなりました。日頃から音大生や若い世代の演奏家たちと接する機会が多いのですが、みんなとても優秀で将来の活躍を期待せずにはいられません。彼らや彼女たちがこのまま夢を追いかけることができるように、今後も私たちの世代にできることはないか模索し手助けをしたい。未来に何かを「残したい」というのはエゴが強いので何か「伝えたい」という言い方になりますが、来年も引き続き精一杯手を尽くしてみたいと考えています。まあ綺麗事じゃなく、人生には「清濁併せ呑む」ことが必要なのですが「濁」ばかりじゃつまらない。とりわけ年始はおめでたい気分、皆さんと一緒に一年をスタートしたいので、ぜひこのコンサートにお越しください!新日本フィルとお待ちしています。

取材/東端哲也 撮影/伊藤晴世 協力/フリーペーパーMEG

新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2026

日時 1/12(月・祝) 16:00

心躍るマエストロ、広上淳一がお贈りするバレエ「眠りの森の美女」「白鳥の湖」「くるみ割り人形」の名曲とウィンナ・ワルツとポルカで新年の幕開けを華やかに。

【プログラム】

チャイコフスキー／

バレエ組曲《眠りの森の美女》《くるみ割り人形》《白鳥の湖》より

J. シュトラウスⅡ／喜歌劇《こうもり》序曲

J. シュトラウスⅡ／ワルツ《春の声》

J. シュトラウスⅡ／ポルカ《雷鳴と電光》

J. シュトラウスⅡ／ワルツ《美しく青きドナウ》

【指揮】広上淳一

【司会】田添菜穂子

会場 主劇場

料金 全席指定 7,000円 25才以下 3,500円

発売中 **券** 託児申し込み:12/22(月)まで



古典芸能の物語って、ちょっと不思議で面白い。

歌舞伎とおしゃべりの会 12月の会 悩める古典 vol.2

日時 12/13(土) 13:30

お芝居を見る人も見ない人も楽しめる
アラの人気講座。今回は身近な視点
から歌舞伎など古典芸能の物語を掘り
下げます。講師は、NHKラジオ第2『お
しゃべりな古典教室』のパーソナリ
ティーとしても活躍する、木ノ下歌舞伎
主宰、まつもと市民芸術館の芸術監督
団長の木ノ下裕一さんです。

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円

発売中



講師：木ノ下裕一
(木ノ下歌舞伎主宰)

0才から鑑賞いただける子ども向けクラシックコンサート

おやこでうたうコンサート

日時 12/14(日) 11:00

出演：鷺見真純(うた)、古井麻美子(ヴァイオリン)
松下寛子(ピアノ)

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円 中学生以下500円 ※3才未満入場無料 発売中

主催：福田音楽事務所



あなたのそばに、本格クラシックコンサート

音楽家の集いvol.85ノスタルジック・クリスマス 〜フリッツ・クライスラー 生誕150周年に寄せて〜

日時 12/14(日) 16:00

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円 発売中

主催：福田音楽事務所

【プログラム】
F.クライスラー/
愛のよこび

美しきロスマリン ほか



クリスマスの夜には奇跡が起きる

ミュージカル「クリスマス・キャロル」

日時 12/20(土) 14:00

180年間、世界中で愛され続ける名作
『クリスマス・キャロル』が、家族で楽し
めるミュージカル版で登場！
とんでもなくケチでイキなやつ、スク
ルージ爺さんの前に現れた、かつての
相棒・マーレイのユウレイ。冷めて孤
独なはずのクリスマス・イブが、暖か
い奇跡の夜へと変わっていく……。こ
れは誰にでも起こりうる、少し不思議
な、愛についての物語。

出演：吉田栄作、土屋アンナ
吉田要士 ほか



会場 主劇場

料金 全席指定 7,000円
25才以下 3,500円

発売中

害 託児申し込み
12/6(土)まで

こいつあ春から縁起がいいねえ、新年門出を彩る初笑い！

かに寄席 初席

日時 1/17(土) 14:00

初笑いに相応しい実力派がそろい踏み。落語と浪曲、新年に華を添えるお
めでたい豪華顔付けです。

会場 主劇場

料金 全席指定 4,000円 25才以下 2,000円

発売中 害 託児申し込み
12/22(月)まで



柳家権太楼



柳家三三



瀧川鯉八



玉川太福(浪曲)

詩に綴られた母たちの物語

市毛良枝の音楽と語りのひととき 「母へのまなざし」

日時 1/31(土) 14:00

母という存在の強さ、温かさ、逞しさ、
詩に綴られた母たちの物語。
母にまつわる詩などを素敵な音楽と
トークを交えながらお届けする朗読ラ
イブ。誰にでもいる母という存在。そ
のひとりひとりに物語があります。そん
な親子の物語に思い巡らすひととき。

会場 小劇場

料金 全席指定 2,500円
25才以下 1,250円

発売中 害 託児申し込み1/17(土)まで



音楽の都ウィーンで生まれた名曲たちの調べ

斎藤龍ピアノ・リサイタル ～楽都ウィーンの作曲家たち～

日時 2/14(土) 14:00

アラの数々のプロジェクトに参加し、
すっかりお馴染みとなったピアニスト斎
藤龍が名曲の数々で音楽の都ウィーン
へと誘う。

会場 小劇場

料金 全席指定 2,000円
25才以下 1,000円 発売中

【プログラム】
モーツァルト/
ピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲」
ベートーヴェン/
ピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」 ほか



主催：RS MUSIC

歌舞伎の音楽、常磐津に注目！

歌舞伎とおしゃべりの会 2月の会
歌舞伎を聴く～常磐津の魅力～

日時 2/21(土) 13:30

歌舞伎や舞踊の音楽として演奏されている常磐津を舞台で活躍するゲストによるお話と演奏で贅沢に学びます。
ご案内役は古典芸能解説の第一人者、葛西聖司さん。
楽しい解説で、これから歌舞伎入門という方にもおすすめです。



ゲスト：常磐津巴瑠幸太夫



講師：葛西聖司

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円

発売日 12/13(土)

色あせはしない、あのまぶしい夏。さあ、僕らの旅が始まる！

市民ミュージカル「君といた夏」

日時 ①2/28(土) 18:30 ②3/1(日) 14:00

100人の市民でつくる可見オリジナルミュージカル。
舞台は昭和49年の可見。
それぞれに悩みを抱えた少年たちの小学校最後の夏休みの冒険物語。
仲間といくと、喜びは大きくなり悲しみは小さくなった。
これは誰もが経験する出会いと別れ、家族と友情の物語。

【作・作詞】瀬戸口 郁
【作曲・音楽監督】上田 亨
【演出】黒田百合
【振付】神崎由布子
【歌唱指導】満田恵子



会場 主劇場

料金 全席指定 2,000円
※4才から入場可

発売日 1/10(土)



託児申し込み
2/14(土)まで
※3/1(日)公演のみ

被災地の心の復興を祈る、可見からのエール

東日本大震災復興支援／能登半島被災者支援
祈りのコンサート2026

日時 3/8(日) 14:00

被災者の長らく困難な復興のために、今年度もコンサートを開催します。公演の収益と、お客様からいただいた支援金は、被災者の心の復興のために現地で活動している被災者支援団体に寄託します。

出演：
熊田祥子(ソプラノ)
高野麗音(ハープ)

会場 主劇場

料金 全席指定 1,000円

※4才から入場可

発売日 1/10(土)



託児申し込み
2/22(日)まで



豪華ゲストによる、爆笑トークと絶品話芸

古典落語とトークで味わう
風間杜夫の名人会

日時 3/14(土) 14:00

毎年恒例「風間杜夫の名人会」。
落語界随一の大型ゲストが登場！
元力士という異色の経歴を持つ、岐阜県出身の噺家・三遊亭歌武蔵師匠！巨躯から繰り出される話芸の数々は、まさに一撃必笑。
今年度、注目の大一番です！



風間杜夫

会場 小劇場

料金 全席指定 3,500円
25才以下 1,750円

発売日 1/10(土)



託児申し込み
2/28(土)まで



ゲスト：三遊亭歌武蔵

チケット取扱／可見市文化創造センター・インフォメーション

ネットで
予約する

https://www.kpac.or.jp

24時間いつでも予約可能！ネットでのカード決済も可能。
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！

電話で
予約する

TEL.0574・60・3050

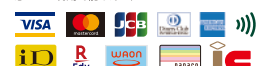
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！

9:00～19:00

(火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で
購入する

窓口でご利用可能なカード



- 発売日は窓口・ネットにて販売。電話予約は翌日からとなります。●表記のない公演の開場は開演30分前です。●振込による代金支払いもごさいます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。●25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

害50%
当日ハーフプライス対象

【当日ハーフプライス】
残席がある場合に限り公演日当日、
チケット料金が半額になります。
※インターネットは0時から。
窓口・電話は9時から。



チケットれすQ対象

【チケットれすQ】
インターネットでチケットを予約購入後、お持ちの
スマートフォン等によって QR コードを表示してご
入場いただけます。紙チケット発券が不要なため、
購入から入場までがスムーズに。
※このマークがある公演対象



託児サービス対象

【託児サービス】
公演鑑賞されるお客さまのお子さま
(6カ月～未就学児)をアール館内のキッ
ズルームにてお預かりいたします。
1名 500円
※要事前申込
※このマークがある公演対象

日	曜	開演 予定	終演 予定	催事名	入場	問合せ
---	---	----------	----------	-----	----	-----

主劇場(宇宙のホール)						
11	日	13:00	14:15	令和 8 年 可児市成人式	関係者のみ	市地域協働課 0574-62-1111 (内線 2115)
12	月・祝	16:00	18:00	新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2026	詳細は P3	可児市文化創造センター 0574-60-3311
17	土	14:00	16:15	かに寄席 初席	詳細は P4	可児市文化創造センター 0574-60-3311
24・25	土・日	各日 10:20	各日 17:30	第 58 回 岐阜県アンサンブルコンテスト岐阜県大会	全席自由 900 円 (前売券のみ)	加地寛人 080-3646-5479

小劇場(虹のホール)						
14	水	17:00	19:00	2026 年度 一般社団法人可児青年会議所 新年式典	関係者のみ	今井貴大 090-6648-3873
17	土	13:00	17:30	第 23 回 岐阜県連大会 可児大会	関係者のみ	可児商工会議所 青年部 0574-61-0011
18	日	13:30	15:30	可児市伝統文化子供日本舞踊教室 子供日本舞踊 発表会	無料	加藤雪子 0574-63-7801
28	水	13:00	15:15	上之郷中学校 音楽祭	関係者のみ	御嵩町立 上之郷中学校 0574-67-0431
31	土	14:00	16:00	市毛良枝の音楽と語りのひととき「母へのまなざし」	詳細は P4	可児市文化創造センター 0574-60-3311

ギャラリー						
15~18	木~日	9:00	17:00	第 21 回 芳墨会書展	無料	渡辺白鳳 090-6760-8811
23	金	9:30	16:00	可児の企業魅力発見フェア	無料	市商工振興課 0574-62-1111 (内線 2346)

- ・入場者多数の場合、定員以上はご入場いただけません。主催者都合により入場制限をする場合がありますので、整理券等の有無につきましては事前に主催者にご確認ください。
- ・主催者都合により発行後内容が変更になる場合があります。催しの詳細につきましては主催者にお問い合わせください。 ・劇場につきましては本番ご利用日のみ掲載しております。
- ・駐車場に限りがありますので、公共交通機関の使用等をお願い致します。 ・11/1 時点でのお申し込み状況、予定を掲載しています。

令和7年度 優秀映画鑑賞推進事業

35mmフィルムで味わう名作映画鑑賞会

年齢を問わず人生の様々なステージで、“熱中する人々”への人生讃歌。

日時 1/25(日)・1/26(月)

会場 映像シアター 料金 全席指定 500円 発売中

『がんばっていきまっしょい』

フジテレビ系「こころのかけ橋」で放送された感動ドラマ。1998年／119分

監督 磯村一路

出演 田中麗奈、清水真実、中嶋朋子 ほか

『キツツキと雨』

「キツツキと雨」製作委員会 2011年／128分

監督 沖田修一

出演 役所広司、小栗旬、高良健吾、山崎努 ほか

『Shall we ダンス?』

大塚・日本テレビ放送網・朝日放送 1996年／136分

監督 周防正行

出演 役所広司、草刈民代、竹中直人 ほか

『死に花』

「死に花」製作委員会 2004年／120分

監督 犬童一心

出演 山崎努、宇津井健、青島幸男、谷啓、松原智恵子 ほか

主催：(公財)可児市文化芸術振興財団／アール映画部／国立映画アーカイブ

特別協力：文化庁／一般社団法人日本映画製作者連盟／全国興行生活衛生同業組合連合会

松竹株式会社／東宝株式会社／東映株式会社／株式会社KADOKAWA

Kani Public arts center ala Monthly paper 6



「音楽ワークショップラボ」 地域の居場所におけるクラシック音楽体験

音楽を通じて「人々を幸せにしたい」「人と人をつなぎたい」「誰もが楽しめる場を作りたい」、そんな想いを込めて今年度から「音楽ワークショップラボ」がスタートしました。このラボは、演奏家がファンリテーターやコーディネーターといった場づくりの「担い手」たちと出会い、チームとして地域の様々な場所に出かけることで、演奏だけでなく、音楽の力を発揮するプログラムを探索するものです。

本ラボでは、ワークショップの基本を学ぶ【学び編】と、学んだことを活かして地域で実践する【実践編】を行い、地域の地区センターと連携し、こども食堂、おしゃべりサロンなど、全7か所様々な場で音楽ワークショップを行いました。各活動後、メンバー内で内容を振り返り、よりよいプログラムになるよう意見交換をし、お互いに高め合える仲間になっています。

この活動によって、250人程の方々に、クラシック音楽の楽しさを体験していただくことができました。音楽を通じた交流によって、参加者同士の新たなつながりを生み出し、日々の暮らしの質の向上や、孤立の予防にもつながると思っています。

また、演奏家にとってもいつもとは違う活動スタイルを経験する機会となりました。音楽経験の少ない方にも魅力を伝えるため、楽曲の構成や背景をむもときながらわかりやすく伝える過程は、演奏家自身の楽曲理解をより深めます。参加者と一緒に音を「面白がり」「味わう」という新しい感覚を身につけることで、音楽の魅力を伝えるスキルの向上につながり、より多くの人に音楽の楽しさを感じてもらおう場を今後もつくり出してくれるでしょう。

第1期の活動は終了しましたが、今後もラボメンバーと共に、音楽が地域にどうアプローチできるのかを問い続け、活動を継続していきたいと思っています。

(創造事業課 松浦)



館長エッセイ

もっとアーラを市民に(市民アンケート調査から)

可児市文化創造センター館長 竈橋義朗

可児市の市民アンケート調査の結果が市のホームページで発表されました。その中で「可児市の自慢できるもの」という項目では、「ぎふワールド・ローズガーデン」が約58%と最も高く、次いで「文化創造センターアール」が約29%、「鳩吹山」が約22%となっています。特に10代で「アール」が約33%と、世代別では70代以上の約39%に次いで高いことから、子どもたちにもアールを誇りに思ってもらえていることが分かります。とても嬉しい結果でした。また、「可児市に今後も住み続けたいと思う」と回答した人の割合は約90%。その理由としては、「生活の利便性が高いから(通勤・通学・交通・買い物・遊びなど)」が約42%で最も多く、次いで「家族(親族)が近くにいてから」が約37%、「可児市が好きだから(人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術など)」が約35%でした。さらに、「可児市に対して愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせると約84%にのぼり、非常に高い数値となっています。

9月から10月にかけて上演した「アールコレクション・ハハキのアミレット」では、南果歩さんや平田満さんをはじめとする約20名の出演者・スタッフが約1カ月にわたり可児市に滞在しました。その際に伺った可児市の印象として、「山や川に囲まれた自然豊かなまちでありながら、都市的な生活環境も整っていて、人が暮らすのにちょうどいい環境」「アールはイベントがない時でも子どもや大人が来館しており、いつもにぎわいがある。こんな劇場は見たことがない」「近所のスーパーや美容院、飲食店などで市民のあたたかさを感じた」「鳩吹山に沈む夕日が絶景」「人があふれる東京での生活から離れ、ゆったりした時間の中で演劇に打ち込めたことは何物にも代えがたい体験だった」などの声をいただきました。改めて、可児市が持つ魅力と強みを客観的に見つめ直すきっかけになったと感じます。

可児市政の重要なキーワードである「住みごこち一番」を実現するためには、地域への愛着と、他者とのつながりの豊かさが欠かせません。アールはこれからも、文化芸術を通してその「つながり」を育み、可児市民に届けていきたいと考えています。

essay



可児で紡がれた祈りと継承の物語 ala Collection シリーズ vol.16 『ハハキのアミュレット』

2025年10月5日、ala Collectionシリーズ最新作『ハハキのアミュレット』可児公演が無事に幕を閉じました。

この企画の構想は、遡れば2023年3月。当時、横山拓也さんがala Collectionシリーズに関心を寄せていると伺い、所属事務所代表の山家かおりさんと都内の喫茶店で会ったことが始まりでした。そこから「2024年度のシリーズ恋文vol.14の構成・演出」、そして「2025年度のala Collectionシリーズでの作・演出」へと、話がトン拍子で進んでいきました。

その一方で、横山さんは2024年に第27回鶴屋南北戯曲賞、2025年には第59回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。名実ともに、いま日本演劇界を代表する劇作家のひとりです。

ala Collectionシリーズはこれまで、名作の再構成に焦点を当ててきましたが、「横山さんとなら新作に挑みたい」という想いから、あえて書き下ろしを依頼しました。

物語の軸は、棕櫚箒(しゅろほうき)を代々作る家族の物語。2025年1月、横山さんは和歌山県で棕櫚箒を製作している深海産業さんを訪ね、取材を通じて作品の核となる多くのインスピレーションを得られましたと後に話していただきました。この出会いがなければ本作は生まれなかったことでしょう。

出演には、南果歩さん・平田満さんをはじめとする実力派俳優が集結。東京での2週間の稽古を経て、可児での2週間の滞在制作が始まりました。

短い滞在期間ながら、24名の市民サポーターの皆さんが温かな言葉と差し入れで支えてくださり、稽古場には常にぬくもりがありました。南果歩さんはシリーズ初の「愛犬と共に滞在」というスタイルで、自然豊かな可児で創作に臨まれました。

横山さんは、「演劇だけのことを考える時間があるというのは、とても豊かで幸福なこと」と語り、南果歩さんは「alaシステム(滞在型創作)を全国に広げてほしい」と話してくださいました。

その言葉通り、この可児という土地の豊かな時間の流れの中で生まれたのが、『ハハキのアミュレット』です。



可児稽古初日。滞在を支えてくれる市民サポーターたちと一緒に

作品は「後継者問題」を軸に、兄妹の確執、婚前妊娠、伝統の継承、過疎化など、現代社会の縮図ともいえるテーマを軽やかな関西弁の台詞で描きました。登場人物たちはそれぞれの悩みや選択を抱えながらも、懸命に人生を歩み続けます。

公演後には「身も心も全身で感動しました!」「大変面白かったです!」、多世代のお客様から共感の声を多数いただきました。

このような声が私たちにとって本当に大きな励みになります。支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

(プロデューサー 澤村潤)



TEL 0574-63-5223 営業時間 9:00~20:00

アール主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF (一部対象外公演あり)
※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可児市文化創造センター ala



12月は2、9、16、23日
1月は6、13、20、27日

【年末年始休館】
12月28日~1月4日

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
https://www.kpac.or.jp

開館時間/9:00~22:30 (火曜休館/祝日の場合は開館 翌平日休み)
TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312 ㊚ala_info.01@kpac.or.jp

